

教育広報

# 県北の教育

発行所

福島県教育庁県北教育事務所

福島市杉妻町2番16号

電話024-521-2818

発行者

菊池篤志

巻頭言

## 校歌に込められた想い

県北教育事務所 次長兼学校教育課長 佐藤則之

私が生まれ育った地区では、“年直し”（厄年のこと、本来は「厄落とし・厄払い」）の時に、全クラス合同で同級会を開催するのが伝統となっており、その運営方法等についてのノウハウも先輩から後輩へと受け継がれています。担任の先生方を御招待し、今でも、毎年盛会に開催されていると聞きます。

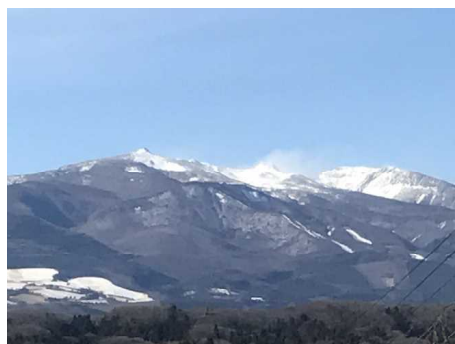
この時ばかりは、ふるさとを離れている懐かしい顔も、時間をとり、かけつけてきます。私の学年の時は、南は九州福岡から、北は青森まで多くの参加者があり、大いに旧交を温めることができました。全員が中学生の時の気持ちに戻ってしまうようで、部活のことや修学旅行のこと、〇〇先生に厳しい指導を頂いたこと等、話が尽きることはありません。私のクラスでいつも話題となり盛り上がるのが、①校内合唱コンクールへ向けた練習で、合唱が嫌いなK君が練習をサボって帰ってしまい、伴奏者のSさんを泣かせてしまった話、②東京への修学旅行が、国鉄のストライキで急遽バスに変更となったこと、③東京から乗車してきたガイドさんが、当時超音速旅客機として話題となった「コンコルド」を「コンコドル」と連呼したこと等、会うたびに話が出て盛り上がります。そして、会の終わりには、必ず全員で校歌を歌い、再会を誓い合うのです。このような合同での同窓会が、今回は、還暦の時に開催と既に予定は決まっています。

母校の近くを通りかかると、当時のいろんなことが思い出されますが、その時に頭の中にBGMとして流れるのは、私の場合は校歌です。

間もなく、年度末を迎え、学校の最大の行事ともいえる卒業式がどの学校でも行われ、その中で校歌が歌われることでしょうか。今年の卒業生はどんな思いで校歌を歌い、巣立っていくのでしょうか…。恥ずかしながら、自分が子どもだった時は、校歌を歌いながらも、その歌詞の意味を考えたことはありませんでした。大人になりはじめて、勤務した学校を含め、校歌の歌詞の意味を考えさせられることがよくありました。

卒業式は、一つの「節目」です。「節目」とは、物事の区切り目のことであり、新たな環境のもとで今までにない活躍の場が広がってくるとともに、今までにない責任のもとに暮らしていくことを意味します。私たちが人生で体験する卒業式などの「通過儀礼」は、多くの人々の支えを受けてこの日を迎えられたことに感謝し、その心に応えていくことを誓い、同時に周囲の人々との絆を確かめ合って、これからを心新たに生きていくための「大切な節目」です。

大きな節目である卒業式に、自校の校歌の意味を子どもたちと共に考えてみるのはどうでしょう



<新春の安達太良山>

安達太良山に父思い

阿武隈川に母しのぶ

厳しさを教えとし

豊かさを心とし

学んでゆこう

われらわれら

二本松第一中学校

か。校歌には、先人が後輩に託した思いが込められています。子どもたちが大人になり、ふと校歌を口ずさんだ時に、歌詞の意味を考えながら、自分が生まれ育ったふるさとに誇りと感謝の気持ちを持ち、このふるさとのために、「自分にできることは何か」と考えられる人に成長してくれることを願わずにはいられません。

### 平成28年度第45回福島県教職員研究論文入賞者表彰式

今年度、県北域内では7点の応募があり、特選に1点入賞しました。いずれの論文も「生きる力」の育成を目指して、子どもたちが自ら課題をもって解決に立ち向かうための取組が具体的に論じられていました。

**【特選】**

共同研究 伊達市立保原小学校 校長 佐藤 喜夫  
研究主題 人とかかわりながら課題を解決できる子どもの育成  
～『学び合い』を基盤として～第2期 第一次



**<応募者>**

- 個人研究 学習指導 福島市立野田小学校 (生活科) 教諭 高玉 美加
- 個人研究 特別支援教育 伊達市立堰本小学校 教諭 伊藤 律子
- 個人研究 学習指導 伊達市立小手小学校 (社会科) 教諭 川村 国央
- 個人研究 学習指導 桑折町立醸芳小学校 (社会科) 教諭 板倉 正哉
- 個人研究 特別支援教育 二本松市立岳下小学校 教諭 齋藤 隆康
- 個人研究 学校保健 本宮市立糠沢小学校 養護教諭 浦川 周子



### 学力向上の取組

平成28年度は、要請訪問、各種研修会で、教科や学年の壁を越えた「全校体制」による「共通実践」により、意欲的に学ぶ子どもたちの育成を目指し、働きかけて参りました。

各種調査によると、各校における組織的な取組や士気の高まりが見られます。真摯な姿勢に感謝申し上げます。一方、今年度の要請訪問、諸調査を通して見られた課題もありました。

課題とその改善策の例を2つ挙げます。各校の実態に応じて参考にしていただければ幸いです。

**<課題1>**

「振り返る活動」が不十分なまま終わってしまう授業が多かった。

(改善策)



【**県北版**】学校教育指導の重点の中で、「振り返る活動」の充実についての方策を全ての教科で示しました。

**<課題2>**

授業研究の際に、外部の指導助言者を招聘する機会が全国比、県比ともに少なかった。

(改善策)



授業スタンダード（県教委が作成中）を活用した授業研究を推進する地域を指定するなどして、授業改善に向けた校内研修の在り方を提案していきます。

### 食育の充実

～元気な県北の子を～

本県では、食に対する正しい理解と関心を高めるとともに、生活リズムを改善し望ましい食習慣の形成を目的に「朝食について見直そう週間運動」を年2回（6月、11月）実施しています。運動期間中の1週間には、朝食摂取率調査を行っています。その結果が以下です。

	6月	11月
朝食摂取率	96.7	96.6
朝食に野菜を食べた	56.6	57.5
朝食に汁物を食べた	50.2	59.2

(%)

朝食摂取率に変化はありませんが、食事の内容に変化が見られました。特に、朝食に汁物を取り入れる家庭が増えてきました。これは、各学校の食育推進コーディネーターが中心となり、組織的に食育を推進していただいている結果です。食の充実は心身ともに健康に過ごす源です。元気な県北の子を育てるため、来年度も積極的な食育の推進をよろしくお願ひします。



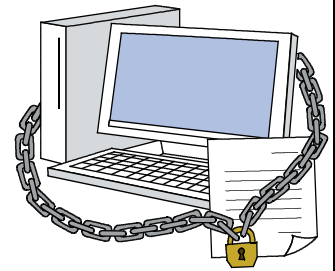
## 年度末に向けて

本年度、最重点目標として「飲酒運転・わいせつ・体罰等の不祥事ゼロ」を掲げ、各学校に実効ある取組をお願いして参りましたが、残念ながら当域内でも不祥事が発生してしまいました。

年度末を迎えるこの時期、11月末に開催された福島県教育委員会サービス倫理対策管理職研修会の伝達内容を学校全体で再確認いただくとともに、特に次の点について注意し、職員一人一人の危機管理意識の高揚を図るようお願いいたします。

### (1) 情報管理の徹底

年度末は、事務が繁雑になる時期です。情報管理を徹底するため、紙媒体、電子媒体を問わず、各種情報の紛失や流失防止に細心の注意を払ってください。また、職員室内の情報管理にとどまらず、児童生徒用パソコン等の管理についても再度確認や保存情報の見直しを図ってください。



### (2) 交通事故の防止

年度末に向けては、積雪や路面凍結によるスリップ事故が心配されます。降雪時には、時間と心に余裕をもった運転を行うことが大切です。また、気の緩みによる渋滞中の追突事故や自転車との接触事故への注意も必要です。

### (3) 相談窓口の周知徹底

「学校生活に関する相談窓口のご案内」について児童生徒及び保護者への配付並びに周知をお願いしたところですが、今後とも学校生活に関して相談しやすい環境の整備等、相談体制の充実に努めてください。

### 〈 危機管理意識高揚のために 〉

教職員一人一人の危機管理意識高揚のために、お互いが危機感を共有し「自分のこと」として考えることができる取組の工夫が必要です。教育公務員として、胸をはり、誇りをもって勤務できる職場環境づくりができるようサービス倫理対策管理職研修会の内容を参考に、学校での取組の再確認をお願いいたします。

## ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業 ～ ふれあいと 絆をつくる 十七字 ～

今年もたくさんの御応募をいただき、ありがとうございました。

県北域内では、4, 246組(昨年: 3, 103組)、県全体では41, 502組(昨年: 38, 594組)の応募がありました。

県北域内の入賞作品を御紹介します。

### 「復興部門」最優秀賞

「やっぱりね 地元の物は おいしいね」 半田醸芳小学校6年 佐藤 倫己  
「安心を 食べるしあわせ かみしめる」 母 佐藤 淳子

### 「絆部門」優秀賞

「ありがとう なかなか言えず 手紙書く」 梁川小学校4年 高橋 麗菜  
「ポケットに 手紙しのばせ おまもりに」 母 高橋 杏子

### 「復興部門」佳作

「日差しあび 姉妹で走る えみ浮かべ」 伊達小学校6年 丸山久玲葉  
「母嬉し 娘の肌が 小麦色」 母 丸山 辰枝

### 「復興部門」佳作

「震災後 元気をくれる ボランティア」 大玉中学校1年 橋本 鎌多  
「復興に 負けずとたれる 稲穂かな」 祖母 木下 美子

なお、平成28年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」絆部門及び復興部門の県北域内選考作品(218作品)は県北教育事務所のホームページ(<http://www.kenpoku-eo.fks.ed.jp>)で御覧いただけます。

平成29年度

### 学校教育指導の重点

### 全体構想

福島県教育庁県北教育事務所

## 力強く歩む子どもを育てる県北の教育

夢実現に向けてがんばる子どもたちに

### 生き抜く力の育成



### 第6次福島県総合教育計画

- 基本理念 “たくましの和”を養う、こころ豊かな  
基本目標
- 知・徳・体のバランスのとれた社会に貢献する自立した人間の育成
  - 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
  - 豊かな教育環境の形成

### 確かな学力

#### 「意欲的に課題に取り組み、解決する子ども」

#### ★ 問題解決的な学習を中軸とした授業の充実【授業づくりの6つのポイント】

- 単元のねらいと子どもの実態等を踏まえ系統性を図った単元構想の工夫
- ねらいからまとめまでの整合性を図り、子どもの思考を大切にしながら、指導する姿勢と手立てを明確にした授業の設計
- 必然性があり意欲が高まる学習課題の設定と解決への見通しをもたせる工夫
- 思考を促し、見取り、生かす教師の働きかけの充実
- 思考の共有と吟味を促す学び合いをコーディネートする力の向上
- 学習内容の定着を図る「振り返り活動」の充実

#### ★ 明確な目標設定による組織的な学力向上策の推進

- 定着確認シート等を活用したジョーティングのPDCAサイクルの充実
- 全国学力・学習状況調査等を活用したロングスパンの取組の工夫
- 学校課題克服のために一人一人の教職員が役割を明確にした取組の充実

### 豊かな心

#### 「心が通う人間関係を築く子ども」

#### ★ 道徳教育の充実

- 指導の重点を明確にした全体計画の作成
- 多様な指導方法と子どもの心に響く授業展開の工夫
- 道徳の時間の授業公開と学校間・異校種間の連携強化

#### ★ 生徒指導の充実

- 子どもへの的確な見取りと組織による予防的な取組の推進
- 不登校やいじめ未然防止・早対応のための具体的方策についての共通実践
- 教育相談体制の充実とSC、SSWや関係機関等との連携

#### ★ 体験活動の充実

- 地域の大人や異年齢集団との交流の充実
- 自然体験活動や奉仕体験活動等、子どもの発達段階に応じた体験活動の充実
- 職場体験等を通して、自己の生き方を考える機会の設定と充実

### 健やかな体

#### 「進んで体力の向上と健康づくりに励む子ども」

#### ★ 進んで運動する態度の育成

- 12年間を見通したバランスの取れた指導計画の作成
- 子どもが主体的に学習する授業づくりと実質的な運動時間の確保
- 体力向上推進計画に基づき体力向上策の共通理解・共通実践
- 授業以外の体育的活動(業間活動・部活動等)に対する組織的取組

#### ★ 健康で安全な生活を実践する態度の育成

- 各教科等の特質に応じた保健学習・保健指導の充実
- 給食指導の充実及び家庭や地域と連携した計画的な食育の推進
- 身の回りの危険を予測し、回避する能力を育む安全指導の推進
- 主体的に判断し、行動する態度を育む防災教育・放射線教育の充実

### 学級・学習集団づくり

#### ～安心・存在・向上心～

- 相手を尊重しながら自分の意見を主張できる態度の育成
- 一人一人のリーダー性が育まれる機会の確保

- 学級経営方針の明確化と教師が互いに支え合う体制づくり
- プロセスを認め、褒め、称賛する教師の姿勢

- 子ども同士が互いのよさや成長を認め合う場の設定
- 全員が気持ちよく学ぼうとするためのルールの明確化

### 特別支援教育

#### ～地域と共に学び、共に生きる教育の推進～

- ★ 全教職員の連携による学校(園)内支援体制の充実
- プランニングによる支援体制の整備と活性化

- ★ 一人一人のニーズに応じた指導の充実
- 合理的配慮の提供と「個別的教育支援計画」の作成・活用
- 「個別の指導計画」に基づく授業の評価・改善

- 特別支援教育の視点と指導の工夫
- ★ 集団とのよきかかわりを実現する
- 一人一人のよさや個性・個性を認め合う場づくりの推進

- ねらいを明確にした交流・共同学習の推進
- ★ 関係性・地域及び学校・家庭・連携関係の連携による支援の充実
- 特別支援学校のセンタースタッフ等の積極的な活用による授業や支援の充実

### 幼稚園教育

#### ～5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)を踏まえた保育の充実～

- ★ 長期・短期的な見直しをもった指導計画の作成・改善
- 長期的計画と短期的計画との往復生活・発達の連続性を踏まえた指導計画
- ★ 主体的な活動が確保される保育の充実
- 幼児期運動指針を踏まえた遊びの工夫
- 教師の全人的環境としての援助
- 特別な支援が必要な子どもの実態に応じた指導の工夫

家庭

地域

社会

関係

連携

機関

※ □の項目は、自分の指導を振り返るためのチェック項目として活用してください。